



2021年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(非連結)

2020年10月30日

上場会社名 株式会社ナフコ 上場取引所 東
 コード番号 2790 URL http://www.nafco.tv
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 石田 卓巳
 問合せ先責任者 (役職名) 経理部長 (氏名) 小林 数臣 (TEL) 093-521-7030
 四半期報告書提出予定日 2020年11月6日 配当支払開始予定日 2020年12月4日
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家・アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

1. 2021年3月期第2四半期の業績 (2020年4月1日~2020年9月30日)

(1) 経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2021年3月期第2四半期	126,865	9.7	13,711	154.8	13,910	146.3	8,465	158.1
2020年3月期第2四半期	115,677	0.4	5,380	10.7	5,647	10.7	3,280	28.4

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2021年3月期第2四半期	296.40	—
2020年3月期第2四半期	114.84	—

(2) 財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2021年3月期第2四半期	236,542	150,231	63.5	5,259.71
2020年3月期	221,037	142,324	64.4	4,982.87

(参考) 自己資本 2021年3月期第2四半期 150,231百万円 2020年3月期 142,324百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2020年3月期	—	19.00	—	20.00	39.00
2021年3月期	—	23.00			
2021年3月期(予想)			—	20.00	43.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

3. 2021年3月期の業績予想 (2020年4月1日~2021年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	238,000	9.3	19,800	138.0	20,300	126.5	12,100	144.8	423.63

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注) 詳細は、添付資料9ページ「2. 四半期財務諸表及び主な注記 (4) 四半期財務諸表に関する注記事項 (四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数 (普通株式)

① 期末発行済株式数 (自己株式を含む)

2021年3月期2Q	29,784,400株	2020年3月期	29,784,400株
------------	-------------	----------	-------------

② 期末自己株式数

2021年3月期2Q	1,221,774株	2020年3月期	1,221,670株
------------	------------	----------	------------

③ 期中平均株式数 (四半期累計)

2021年3月期2Q	28,562,666株	2020年3月期2Q	28,562,806株
------------	-------------	------------	-------------

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期貸借対照表	4
(2) 四半期損益計算書	6
(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書	7
(4) 四半期財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	9
3. 補足情報	9
(1) 商品部門別販売の状況	9

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第2四半期累計期間(2020年4月1日から2020年9月30日)におけるわが国経済は、新型コロナウイルス感染症の影響が長期化する中、経済再開の動きが一部で見られるものの、依然として非常に厳しい状況にあります。

家具・ホームセンター業界におきましても、業種・業態を超えた競争の激化や高齢化・人口減少によるマーケットの縮小など、依然として厳しい経営環境となっておりますが、一方で、新型コロナウイルス対策商材や外出自粛に伴う需要が下支えをする状況にあります。

このような状況の中で当社は、お客様と従業員の安全と健康を確保することを最優先し、最大限の感染防止対策を講じながら、社会的な要請に十二分にお応えするべく営業を継続してまいりました。

営業の概況としましては、マスクやアルコール除菌商材をはじめ新型コロナウイルス対策商材が好調に推移しました。また、外出自粛や巣ごもり消費といった消費行動の変化により、収納用品やデスクチェア、ペイントや木材などのDIY用品などが好調に推移したほか、当社の主力部門である園芸用品が、ガーデニング商材や除草・防草商材を中心に好調に推移しました。売上総利益については、強化を継続しているPB商品の構成比の高まりや広告自粛による値下げ減少が寄与し、改善いたしました。販売費及び一般管理費については、「3密」回避のため販促を抑制した結果、広告宣伝費及びポイント関連費用が減少いたしました。

また、店舗展開については、1店舗の新設及び1店舗の増床を行い、かつ2店舗の閉鎖を行った結果、当第2四半期会計期間末における店舗数は34府県にわたり357店舗となりました。

これらの結果、売上高は1,268億65百万円(前年同期比9.7%増)、営業利益は137億11百万円(前年同期比154.8%増)、経常利益は139億10百万円(前年同期比146.3%増)、四半期純利益は84億65百万円(前年同期比158.1%増)となり、増収増益となりました。

セグメント業績を示すと、次のとおりであります。

「資材・DIY・園芸用品」は、外出自粛に伴い園芸用品や木材が好調だったほか、九州での大雨被害や台風対策のため、作業用品などが好調に推移しました。当第2四半期累計期間は、売上高は594億97百万円(前年同期比15.7%増)、売上総利益は216億0百万円(前年同期比21.7%増)、売上総利益率は36.3%となっております。

「生活用品」は、マスクやアルコール除菌商材が好調に推移しているほか、巣ごもり需要により調理用品や清掃用品などが好調に推移しました。当第2四半期累計期間は、売上高は338億51百万円(前年同期比7.1%増)、売上総利益は98億74百万円(前年同期比18.4%増)、売上総利益率は29.2%となっております。

「家具・ホームファッション用品」は、前年の消費増税駆け込み需要の反動が大きく影響しておりますが、在宅勤務等によりデスクチェアなどが好調に推移しました。当第2四半期累計期間は、売上高は234億96百万円(前年同期比3.8%増)、売上総利益は94億64百万円(前年同期比7.5%増)、売上総利益率は40.3%となっております。

「その他」は、車用の除菌消臭剤などカー用品が好調に推移しました。当第2四半期累計期間は、売上高は100億19百万円(前年同期比0.1%増)、売上総利益は31億18百万円(前年同期比7.3%増)、売上総利益率は31.1%となっております。

(2) 財政状態に関する説明

当第2四半期会計期間末の資産合計は、2,365億42百万円となり、前事業年度末と比較して155億4百万円の増加となりました。

(流動資産)

当第2四半期会計期間末における流動資産の残高は、1,026億37百万円（前事業年度末比168億99百万円増）となりました。増加の主な要因は、現金及び預金の増加（前事業年度末比182億81百万円増）などによるものであります。

(固定資産)

当第2四半期会計期間末における固定資産の残高は、1,339億4百万円（前事業年度末比13億94百万円減）となりました。減少の主な要因は、有形固定資産の減少（前事業年度末比12億1百万円減）などによるものであります。

(流動負債)

当第2四半期会計期間末における流動負債の残高は、739億35百万円（前事業年度末比89億95百万円増）となりました。増加の主な要因は、支払手形及び買掛金の増加（前事業年度末比56億38百万円増）、未払法人税等の増加（前事業年度末比32億74百万円増）などによるものであります。

(固定負債)

当第2四半期会計期間末における固定負債の残高は、123億75百万円（前事業年度末比13億97百万円減）となりました。減少の主な要因は、長期借入金の減少（前事業年度末比7億34百万円減）などによるものであります。

(純資産)

当第2四半期会計期間末における純資産の残高は、1,502億31百万円（前事業年度末比79億6百万円増）となりました。増加の主な要因は、利益剰余金の増加（前事業年度末比78億94百万円増）などによるものであります。

(キャッシュ・フローの状況の分析)

当第2四半期累計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）の残高は、395億25百万円となりました。各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動により得られた資金は、223億52百万円（前年同期比で128億23百万円の増加）となりました。この主な要因は、税引前四半期純利益136億99百万円、仕入債務の増加額56億41百万円、減価償却費27億34百万円などによるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動により使用した資金は、19億12百万円（前年同期比で7億14百万円の減少）となりました。この主な要因は、有形固定資産の取得による支出18億78百万円などによるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動により使用した資金は、22億12百万円（前年同期比で8億10百万円の減少）となりました。この主な要因は、長期借入金の返済による支出7億48百万円、リース債務の返済による支出5億63百万円などによるものであります。

(3) 業績予想などの将来予測情報に関する説明

2021年3月期の第2四半期累計期間及び通期の業績予想につきまして、最近の業績動向を踏まえ、かつ新型コロナウイルス感染症の影響を考慮し、2020年7月31日に公表した2021年3月期の業績予想を修正しております。詳細につきましては、先日（2020年10月28日）公表の「業績予想の修正に関するお知らせ」をご覧ください。

2. 四半期財務諸表及び主な注記

(1) 四半期貸借対照表

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	24,190	42,472
売掛金	2,952	3,195
商品	57,068	55,176
その他	1,528	1,797
貸倒引当金	△2	△4
流動資産合計	85,738	102,637
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	68,700	67,159
土地	48,580	48,580
建設仮勘定	239	816
その他(純額)	3,781	3,544
有形固定資産合計	121,301	120,100
無形固定資産	3,059	3,068
投資その他の資産	10,937	10,735
固定資産合計	135,298	133,904
資産合計	221,037	236,542
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	28,116	33,754
短期借入金	20,905	20,575
1年内返済予定の長期借入金	1,496	1,482
未払法人税等	2,237	5,511
未払金	3,904	3,616
設備関係支払手形	2,112	2,000
賞与引当金	1,003	1,005
役員賞与引当金	28	-
ポイント引当金	1,179	1,072
資産除去債務	119	12
その他	3,837	4,903
流動負債合計	64,939	73,935
固定負債		
長期借入金	1,793	1,058
退職給付引当金	3,148	3,128
役員退職慰労引当金	1,028	354
資産除去債務	5,620	5,644
その他	2,181	2,189
固定負債合計	13,773	12,375
負債合計	78,713	86,310

(単位：百万円)

	前事業年度 (2020年3月31日)	当第2四半期会計期間 (2020年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,538	3,538
資本剰余金	4,223	4,223
利益剰余金	136,853	144,748
自己株式	△2,350	△2,350
株主資本合計	142,263	150,158
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	60	72
評価・換算差額等合計	60	72
純資産合計	142,324	150,231
負債純資産合計	221,037	236,542

(2) 四半期損益計算書

第2四半期累計期間

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
売上高	115,677	126,865
売上原価	77,871	82,808
売上総利益	37,806	44,057
販売費及び一般管理費	32,426	30,346
営業利益	5,380	13,711
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	7	7
受取手数料	94	93
受取家賃	230	249
受取保険金	25	27
その他	129	78
営業外収益合計	487	455
営業外費用		
支払利息	70	61
不動産賃貸原価	90	94
災害による損失	44	81
その他	13	18
営業外費用合計	219	256
経常利益	5,647	13,910
特別利益		
固定資産売却益	4	-
受取保険金	-	13
特別利益合計	4	13
特別損失		
固定資産除却損	41	27
減損損失	248	-
災害による損失	-	197
賃貸借契約解約損	28	-
その他	0	-
特別損失合計	318	224
税引前四半期純利益	5,333	13,699
法人税等	2,053	5,233
四半期純利益	3,280	8,465

(3) 四半期キャッシュ・フロー計算書

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自2019年4月1日 至2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自2020年4月1日 至2020年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税引前四半期純利益	5,333	13,699
減価償却費	2,907	2,734
減損損失	248	-
無形固定資産償却費	73	75
長期前払費用償却額	33	29
有形固定資産除却損	41	27
有形固定資産売却損益(△は益)	△4	-
賃貸借契約解約損	28	-
その他の特別損益(△は益)	0	-
貸倒引当金の増減額(△は減少)	1	1
退職給付引当金の増減額(△は減少)	△15	△20
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△7	△673
役員賞与引当金の増減額(△は減少)	△26	△28
賞与引当金の増減額(△は減少)	13	2
ポイント引当金の増減額(△は減少)	7	△106
受取利息及び受取配当金	△7	△7
受取保険金	-	△13
支払利息	70	61
災害による損失	-	197
売上債権の増減額(△は増加)	844	65
たな卸資産の増減額(△は増加)	411	1,789
仕入債務の増減額(△は減少)	603	5,641
未払消費税等の増減額(△は減少)	576	945
その他の資産の増減額(△は増加)	△230	△265
その他の負債の増減額(△は減少)	△475	211
その他	△3	5
小計	10,425	24,371
利息及び配当金の受取額	7	7
保険金の受取額	-	13
利息の支払額	△73	△61
災害損失の支払額	-	△9
法人税等の支払額	△830	△1,968
営業活動によるキャッシュ・フロー	9,529	22,352

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年9月30日)	当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日 至 2020年9月30日)
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△2,462	△1,878
有形固定資産の売却による収入	4	-
無形固定資産の取得による支出	△100	△28
固定資産の除却による支出	△38	△24
資産除去債務の履行による支出	-	△111
敷金及び保証金の差入による支出	△5	△110
敷金及び保証金の回収による収入	22	252
投資その他の資産の増減額 (△は増加)	△46	△10
投資活動によるキャッシュ・フロー	△2,626	△1,912
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	△1,230	△330
長期借入れによる収入	500	-
長期借入金の返済による支出	△1,148	△748
リース債務の返済による支出	△603	△563
自己株式の取得による支出	-	0
配当金の支払額	△542	△571
財務活動によるキャッシュ・フロー	△3,023	△2,212
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	3,879	18,227
現金及び現金同等物の期首残高	20,196	21,297
現金及び現金同等物の四半期末残高	24,075	39,525

(4) 四半期財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

○税金費用の計算

税金費用については、当第2四半期会計期間を含む事業年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。

3. 補足情報

(1) 商品部門別販売の状況

(単位:百万円)

	前第2四半期累計期間 (自 2019年4月1日) (至 2019年9月30日)		当第2四半期累計期間 (自 2020年4月1日) (至 2020年9月30日)		前年同期比(%)
	金額	構成比%	金額	構成比%	
資材・DIY・園芸用品	51,425	44.5	59,497	46.9	115.7
生活用品	31,608	27.3	33,851	26.7	107.1
家具・ホームファッション用品	22,637	19.6	23,496	18.5	103.8
その他	10,005	8.6	10,019	7.9	100.1
計	115,677	100.0	126,865	100.0	109.7

(注) 各部門の構成内容は次のとおりであります。

資材・DIY・園芸用品	大工道具、建築金物、ペイント、左官用品、園芸用品、水道用品、エクステリア、木材・シェルフ、ルームアクセサリ、作業用品、グリーン、電材
生活用品	家庭用品、季節用品、収納用品、文具、日用品、調理家電、履物、食品、化粧品、アウトドア用品
家具・ホームファッション用品	家具、フロアカバリング、カーテン、インテリア小物、照明、寝具、リフォーム、床材
その他	カー用品、乗り物、ペット用品、灯油他